

未来の仙台がより豊かになるための まち・ひとづくりを考える。

公益社団法人仙台青年会議所（JCI仙台）は70周年の節目を迎えた。人と人との関係が希薄になっていく時代だからこそ、その活動と役割の大切さがいま、クローズアップされている。青年会議所以外の青年団体の代表者と、「まち・ひとづくり」をテーマの初の鼎談。

（進行・仙台経済界）



公益社団法人 仙台青年会議所
理事長 菅原 啓太氏

すがわら・けいた
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2015年仙台青年会議所入会。19年七夕花火祭特別委員長、20年副理事長。2021年1月1日より仙台青年会議所理事長。趣味は旅行。

21年度、仙台青年会議所は創立70周年を迎えました。この機会に仙台で活動されている他の青年団体の皆さまに、次世代がより豊かになるためのまち・ひとづくりとは何か、をテーマに話し合っていました。組織の概要

と本年度の活動テーマや課題などをお願いしました。

菅原 2021年度は「Standard Outlet」次世代がより豊かになる仙台（まち・ひと）をスローガンに、会員が最も価値を感じられる組織にしていきたいと考えておりま



一般社団法人 EO North Japan

会長 齊藤 良太氏

さいとう・りょうた
1982年仙台市生まれ。サンフランシスコ州立大学卒業。2005年富士通(株)入社、08年マイクロソフト(株)入社。16年1月、VISIT東北創業。代表取締役就任。2021年7月1日からEO North Japan会長に就任。趣味は社会貢献。

「常に自分の内面に向き合うこと」——齊藤

菅原 主にどのような活動をしているのですか。

齊藤 EOでは、一人ひとりの人間としての成長に重点を置いていきます。常に、自分の内面に向き合っていくという事業なども行っています。フォーラムでは、各会員が5%

の葛藤を持ってきて、守秘義務のもとで話します。それを聞いた他の会員からのアドバイスは禁止、似たような葛藤の経験を他の会員はシェアします。そこからヒントを得て、自分自身の内面と向き合います。

次の仙台を担う皆さんのような若手世代は、地域発展のためにどのような考え、行動するべきでしょうか。

清川 自企業を発展させるために「行動こそ全て」の精神でさまざまなアクションを起こすことが重要。



仙台商工会議所青年部

会長 清川 晋氏

きよかわ・すすむ
1978年仙台市生まれ。東北学院大学卒業。2008年仙台中央タクシー(株)入社。10年同社取締役就任。2021年4月1日から仙台商工会議所青年部会長に就任。趣味は野球観戦など。



取材撮影協力・東洋館

す。代表的な活動の一つに、仙台七夕花火祭があります。仙台の課題に向き合いJCI仙台だからこそ解決できることを行っております。活動期間が40歳までと限られていますので、何のためにやっているのかを常に考えながら、ポジティブに行動してもらおうと大切にしています。活動に魅力を感じていただき仲間を増やしていくことが課題だと思います。現在の会員数は169人で、女性会員は20人です。

創立20年。「発信と連携」を強化したい——清川

清川 仙台商工会議所青年部（仙台YEG）は、仙台商工会議所内の45歳までの青年経済人による組織です。会員間のビジネス交流が活発である点が特徴で、行政への政策提言、

それが結果として地域の発展につながっていくのだと思います。

齊藤 私たちは起業家育成で貢献したいと思っています。事業は起業家が起業家を育成する珍しいアクセラレータープログラム。年商1億円に届いていない起業家に、正会員がボランティアで人間性、ビジネス面の両軸で基本を教えています。それが地域発展につながると思っています。

「人生をどうしていきたいのかを考え抜くこと」——菅原

菅原 皆さんと同じ方向を見ていると思います。突き詰めれば自分の人生をどうしていきたいのかを考え抜いてほしいと思います。その上で、自分の商売をどうしたいのか、自分が住む、そして関わる地域をどうしていきたいのか、常に先を見据えて考えることです。

JCI仙台の中には、各組織体があり、やるべきことはそれぞれ多くあります。会社ですと、社命として、または上司として指示できますが、当会員には会社のような上下関係はありません。リーダーシップで組織を動かしていきます。私は、会員の皆さんには、やって来てくれてありがとうという気持ちでいますし、

他団体・会員間交流、学生や子どもたち向けの事業も実施。会員は現在234人、内24人が女性会員。22年には創立20周年を迎えます。地域事業者が新しい事にチャレンジし、グローバルな視点を持つ事を重視し、今年度のスローガンを「BEGLO CAL」地域を愛する気持ちで世界に繋がる」としました。発信と連携を強化する為に2委員会を新設。会員メリットを提供、新規入会者数増につなげたいと思っています。

齊藤 会名のEOはアントレプレナー（オーガニゼーション）（起業家機構）の略で、1997年に設立された年商約1億円の若手創業起業家の世界的ネットワークです。現在62万国、1万7000人、国内では約1000人の会員がおります。私は7月1日から東北地区の会長に就任しました。東北の組織は、東京、大阪のチャプターと一緒に経済活動をしながら6年前に設立しました。東北の会員は50人です。業種はベンチャー、老舗と多様性にあふれ、経済を盛り上げることに豊かになるという理念で活動しています。7月から新年度のスローガンは、新型コロナによる経済の落ち込みを踏まえ、ジャストア

口に出しています。上下関係ではないので、信頼関係を築いて、本音で話せる関係になるまで一緒に活動できるようにになると、より魅力が伝わると思っています。

清川 上意下達ではなく、協力して取り組む意識が大切ですね。

菅原 とにかく、預けられた業務をやりきること、そしていかに仲間を作るかということが重要だと思います。これからは3団体で交流、連携していくことは、仙台の経済にとって非常に重要ではないかと思っています。

清川 JCI仙台を卒業された方が入会したり、人的な交流はありましたが、正式な共同事業を実施した事がなかったので、当団体の渉外委員会とJCI仙台の委員会とで検討を始めています。今後はEOさまとの連携も模索して行きたいですね。

齊藤 青年世代と一緒に頑張りたいから、未来に向けていろいろと発信していくことが非常に重要だと思います。

菅原 女川町の震災復興では、特に若い世代が頑張りを発揮し、女川の未来に明るさを灯していると感じています。まずは、会員同士の交流の場を設けていきたいですね。

清川 お互いの例会を拝見するのも良いですね。

齊藤 私どももぜひ、参加させて下さい。

菅原 JCI仙台といたしましては、皆さまと一緒に、仙台のためにさまざまな運動を展開していきたいと思っています。本日は、大変貴重なお話をありがとうございました。